

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立緑台小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じ、資料を使って話すことができる。 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができる。 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することが概ねできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 目的や意図に応じて理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 文の中における修飾と被修飾の関係を捉えること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。 データを二次元の表に分類整理することができる。 条件に合う時刻を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や平行四辺形の面積の求め方や答えを記述すること。 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 朝食をしっかり食べ、決まった時刻に就寝・起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 「学校へ行くことや、友だちと接することは楽しい」と思っている児童が多い。 国語や算数の勉強が好きな児童が多い。 「自分と違う意見について考えることは楽しい」と思っている児童が多い。 「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と全員が答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞を読む児童が少ないこと。 携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、「家の人との約束がない」と答えた児童がやや多いこと。 国語や算数の授業の中で、考えをノートに書くことが少ない児童がやや多いこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

・「授業の中でノートに自分の考えを書く」「行事や活動を振り返る作文を書く」「日記などで日常的に自分の経験や思いを文に表す」などの活動を増やし、文の書き方の指導を重ねることで、「書くこと」の向上を図っていく。
 ・モジュールの時間などを活用し、自分で計画を立て、自分で考えて学習に取り組む姿勢を身につけられるよう指導する。
 ・情報モラル指導のさらなる充実を図るとともに、ICT機器を生かした授業作りを工夫していく。
 ・生活科や総合的な学習の時間での具体的な体験活動と、そこでの児童の気づきを大切し、授業づくりに生かしていく。
 ・児童の主体的な活動を支援し、児童の思いや願いを教科横断的に授業で扱うことができるようにするため、教員の校内研究を推進していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・ご家庭での「早寝・早起き・朝ご飯」へのご協力により、基本的な生活習慣が身につけている児童が非常に多いことに感謝いたします。引き続き、よろしくお願いいたします。
 ・基礎学力定着のためには、家庭学習も大切です。家庭学習の時間の目安である学年×10分を多くの児童が実践できているようです。同じ時間でも自発的な取組か受け身の取組かで学習効果に大きな差が出ます。児童の学習意欲を引き出す工夫を、引き続き学校と家庭で協力して取り組んでいきたいと思っております。
 ・学校での情報端末の整備や家庭でのスマートフォンやオンラインゲームの普及により、インターネット利用のルールやマナーの指導とセキュリティ対策が必須となりました。学校では情報モラルを指導していますが、ご家庭でもルールの徹底と安全対策をお願いいたします。
 ・人の役に立ちたいと思っている子がとても多いです。未来をよりよくするため、視野を広げるため、現代社会の問題に関心が持てるよう、ご家庭でも新聞やニュースから話題を取り上げ、会話していただけたらと思います。